

様式第3号

# 会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		平成26年度 第2回 川西市文化財審議委員会	
事 務 局 (担 当 課)		教育振興部 社会教育室 (内線 3421)	
開 催 日 時		平成27年3月17日(火) 13時30分～15時00分	
開 催 場 所		川西市文化財資料館	
出 席 者	委 員	多淵委員長、福本副委員長、西岡委員、福永委員、 計4名	
	そ の 他		
	事 務 局	牛尾教育長、石田教育振興部長、柳川社会教育室長、 井上社会教育室主幹、山田主任、岡野主事 計6名	
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数 なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議題 1 国崎字小路エドヒガン群落の指定答申について</li> <li>・ 議題 2 多田銀銅山国崎字小路坑道群の指定答申について</li> <li>・ 議題 3 国崎字知明・卯ノ戸エドヒガン群落の指定諮問について</li> <li>・ 議題 4 多田銀銅山国崎字知明・卯ノ戸坑道群の指定諮問について</li> <li>・ 報告 加茂遺跡の国史跡追加指定について</li> </ul>	
会議結果		別紙のとおり	

## 審 議 経 過

NO.1

事務局	<p>地域の活性化や市民の方々に川西市の良さを紹介することができるので、エドヒガン等の指定について審議をよろしくお願いします。</p>
委員長	<p>それでは、事務局より議題1より説明いただきたい。</p>
事務局	<p>議題1「国崎字小路エドヒガン群落の指定答申について」、議題2「多田銀銅山国崎字小路坑道群の指定答申について」は、前回平成26年8月29日の審議委員会で諮問させていただいたものでありますので、合わせて説明いたします。</p> <p>国崎字小路エドヒガン群落は、約7.3ヘクタールの区域内に224本のエドヒガンが存在し、所有者は猪名川上流広域ごみ処理施設組合で、保全活動は国崎クリーンセンター啓発施設の「ゆめほたる」が行っています。</p> <p>指定申請理由としましては、エドヒガンは単体では県内各地に見られますが、群落としては県内では猪名川上流域に限られており、その貴重さは兵庫県レッドデータブックのBランクに指定されていることから、天然記念物として指定される価値があるということで、前回指定の諮問をさせていただきました。</p> <p>多田銀銅山国崎字小路坑道群につきましては、同じく所有者は猪名川上流広域ごみ処理施設組合で、保全活動は国崎クリーンセンター啓発施設の「ゆめほたる」が行っています。区域面積は約16ヘクタールで、坑道は46口あります。</p> <p>指定申請理由としましては、多田銀銅山の主要鉱脈奇妙山神教間歩の一部に該当し、近世に隆盛した当鉱山の採鉱遺跡として重要であることから、史跡として指定される価値があるということで、前回指定の諮問をさせていただきました。</p>
委員長	<p>委員から何か意見は。</p>
A委員	<p>エドヒガンの本数は、224本と書いてあるが、約224本ではだめなのか。</p>
事務局	<p>申請者が確認した本数です。</p>
A委員	<p>1本の大きな木の指定ならば問題はないが、群落の場合は枯れて減ったり、増えたりする場合もあるのではないか。</p>
事務局	<p>坑道群の場合でも、今後増える可能性があります。</p>

B 委員	<p>本数が変われば、その都度変更の審議をしなければならない。国の場合は、基本的に群落ということで地番指定になるのではないかと。坑道群も同じで、エリアを限って指定するわけではないかと。そうすると、その中に何個というのは、参考資料としてどこかに書くのはよいかもしれないが、指定の項目の中で書く必要はないように思われる。前回の指定ではどうだったのか。</p>
事務局	<p>今回は、成木数で入れさせていただきます。</p>
C 委員	<p>前回は議論になったような気がする。植林をしているが、その場合新たに増えたものは指定対象外となるのか。</p>
B 委員	<p>指定理由に書き込んでおけばよいのではないかと。「現在確認されるのは成木 224 本である」とか。</p>
C 委員	<p>今後の管理で、著しく枯れた場合「元々何本くらいあった」というデータは重要だと思うが、限定する必要はないように思われる。</p>
委員長	<p>今回指定申請の際に数えたのが 224 本ということで、今後減ったりする場合もあるかも知れない。せっきく数えたのが 224 本なので、これも大事だ。</p>
事務局	<p>今のご意見をいただきまして、申請時の参考本数という形で書かせていただき、区域の指定という方向で指定を進めさせていただきます。</p>
委員長	<p>せっきく数えていただいたので、224 本はどこかに書いた方が良さそう。 坑道の場合は、なくなることはないが、増えることはないのか。</p>
事務局	<p>増えると思います。</p>
A 委員	<p>試掘の坑道もあると思うが、指定はそういうものも含んでいるのか。</p>
事務局	<p>坑道でも、鉦脈を追いかける掘方とか、横から鉦脈をねら</p>

<p>A 委員</p>	<p>って掘るとか、いろいろなタイプの坑道があるようです。以前の発掘調査では、途中で止めているものもありました。</p>
<p>事務局</p>	<p>坑道をみれば、銅鉱石が出たのがわかるのか。</p>
<p>A 委員</p>	<p>国崎クリーンセンター建設前の発掘調査で専門の方に聞きますと、調査した坑道では銅鉱石は多く出しておらず、探査坑的なものであろうということでした。銅鉱石が大量に出ると、もっと坑口を広げて運び出しますが、ここでは狭いものが多く、出たとしても小規模な鉱脈であったのではないかということでした。</p>
<p>事務局</p>	<p>ここは国崎であるが、千軒という地名は能勢町か猪名川町にあたるのか。</p>
<p>A 委員</p>	<p>国崎クリーンセンターのある山の西側が千軒で、猪名川町です。</p>
<p>事務局</p>	<p>銅鉱脈があるかどうかは、シダでわかるということを知ったことがあるが。</p>
<p>B 委員</p>	<p>ヘビノネゴザという別名もありますが、カナヤマシダというのが学名だと思います。岩盤に緑青が出ているのを見つけることもあるようです。</p>
<p>委員長</p>	<p>多田銀銅山関係では、猪名川町で国史跡指定の話がある。別に対抗する必要はないが、川西市でもそれなりの保存をすべきだと思う。</p>
<p>A 委員</p>	<p>鉱山としては、猪名川町も同じ続きなので、猪名川町と連絡を取り合っていたきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>能勢の銅山が一番古いという話を聞いたことがあるが。</p>
<p>A 委員</p>	<p>多田銀銅山では、平安時代能勢から最初に銅が産出したというのが一番古い記録です。</p>
<p>事務局</p>	<p>能勢は大阪府であるが、そのあたりの区分はどうなっているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>同じ多田銀銅山なので、坑道の分布はあります。市町・府</p>

	<p>県境を越えた鉾山であるのが今後の課題となります。</p>
B 委員	<p>世界遺産では石見銀山の次が佐渡金山という話があり、鉾山は重要視されている。世界遺産までいかななくても、日本遺産で括るという志でやっていけばいいかもしれない。</p>
委員長	<p>それでは、国崎字小路エドヒガン群落と多田銀銅山国崎字小路坑道群は指定という答申にしたい。 では、次に議題3・4の指定諮問について、事務局に説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>議題3、国崎字知明・卯ノ戸エドヒガン群落の天然記念物指定申請について説明します。 エドヒガン群落につきましては、平成23年9月9日に指定しました、水明台1丁目・黒川字奥瀧谷、それと先ほど答申いただきました国崎字小路に続いて4件目の指定となります。先の3件と同じく兵庫県レッドデータブックでBランクに指定されていることから、平成26年11月28日付で兵庫県阪神北県民局より申請書が提出されたものです。 所在地は県立一庫公園内で、所有者は兵庫県、保全活動は公園の管理運用を任されています公益財団法人兵庫県園芸・公園協会が行っています。南群が9本、北群が8本で、合わせて17本、約0.6ヘクタールの区域となっています。このエドヒガンは、高さ20メートル、直径1メートル以上に達する高木があります。 (スライドでエドヒガン群落の説明を行う。)</p>
委員長	<p>エドヒガン群落については、これ以外に指定候補があるのか。</p>
事務局	<p>エドヒガン群落は、あと何箇所かありますが、所有者が明らかで保存意志も確認できるところは限られています。</p>
A 委員	<p>水明台ではボランティアが保全活動を行っているようだが、どのような内容か。自然のままではよくないのか。</p>
事務局	<p>自然のままにしておくと、照葉樹林が生えたり、葛が入ってきたり、フジヅルが巻き付いたり、ネザサが生えたりします。ですから、エドヒガンを中心にクヌギなど一定の樹林を残しながら、昔ながらの里山の様子を残すようにしています。</p>

<p>B 委員</p>	<p>史跡の場合では、吉野ヶ里遺跡で根拠のないものを復元して、テーマパークのようになっている。史跡の中には、草が生い茂らないようにするだけで古い地形を見ることができる所もある。賛否両論であるが、すべてが人工的なものはよくないので、市教委のアフターケアが必要である。</p>
<p>委員長</p>	<p>次に、議題4の説明をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>議題4、多田銀銅山国崎字知明・卯ノ戸坑道群の指定申請について説明します。</p> <p>多田銀銅山は、川西市・猪名川町・宝塚市・能勢町・豊能町・箕面市・池田市に広がる鉱山です。大きな鉱脈が4つあり、今回指定諮問します国崎字知明・卯ノ戸坑道群と先ほど指定答申をいただきました国崎字小路坑道群は、歴史的には「奇妙山神教間歩」といわれる主要鉱脈に該当します。今回指定申請地内の知明山は「奇妙山」がなまったもので、奈良時代の東大寺大仏造立の銅を献上したという伝説もあります。</p> <p>今回申請の坑道群は先ほどのエドヒガン群落と同じく県立一庫公園内に所在し、所有者は兵庫県で、平成26年11月28日付で兵庫県阪神北県民局より申請書が提出されました。保全活動は公益財団法人兵庫県公園・園芸協会が行っています。区域面積は同公園内の約48.2ヘクタールで、17口の坑道群を確認しています。</p> <p>坑道群の価値についてですが、多田銀銅山の主要鉱脈「奇妙山神教間歩」に含まれているということと、近世に栄えた当鉱山の採鉱遺跡として良好な状態で残っていることがあげられます。また、県立一庫公園敷地内のため、将来的にも保全が可能といえます。多田銀銅山の指定は、今回で2箇所目ですが、川西市の歴史、文化財として重要なものであり、史跡として指定する価値があると思われます。</p> <p>(スライドで坑道の現況の説明を行う。)</p>
<p>委員長</p>	<p>鉱石のサンプルはあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>坑道のある現地では、ズリという余分なものが捨てられ、要る分の鉱石だけ川西市でしたら山下・下財に、猪名川町でしたら銀山に運んで行き、製錬しました。鉱石のサンプルはありません。</p>

## 審 議 経 過

NO.6

A 委員	猪名川町銀山の悠久の館にはあるのではないか。川西市の郷土館にもあるのではないか。
事務局	郷土館には製錬滓であるカラミは多量にあるが、鉱石はありません。
委員長	鉱石や製錬でできあがったもの等を展示し、子どもたちに見せるのがよいのではないか。
A 委員	若宮あたりに紺青を採掘した場所があると聞いたことがあるが。
事務局	調べておきます。
委員長	坑道の指定ということであるが、どのような鉱石が採れたのかということセットにして子どもたちに見せてやれば納得すると思う。そのあたりの準備もしていただきたい。
事務局	本日諮問しました県立一庫公園内のエドヒガン群落と坑道群の現地視察をお願いいたします。 (委員視察の日程調整を行う)
委員長	事務局より報告をお願いしたい。
事務局	加茂遺跡の国史跡追加指定について報告します。 前回の審議委員会でも意見具申を報告しましたが、このたび平成 27 年 3 月 10 日付で官報告示があり、追加指定されました。今回の追加指定は、3,022 平方メートルで、これまでの既指定地と合わせて 31,506.45 平方メートルとなりました。追加指定は、今後保存活用していくにあたり、重要なゾーンです。
委員長	だんだん追加して拡張できてありがたい。今後とも努力をお願いしたい。
事務局	その他の報告としては、現在審議委員に天然記念物の専門委員が不在なので、次年度の就任を検討中です。
委員長	これで審議委員会を終了する。